

アジア大型株長期厳選投資

運用報告書(全体版)

第3期

(決算日 2023年1月10日)

(作成対象期間 2022年1月12日～2023年1月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | | |
|--------|---|--|-----|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | | |
| 信託期間 | 2019年12月11日～2025年1月8日 | | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | アジア株長期厳選投資マザーファンドの受益証券 | |
| | アジア株長期厳選投資マザーファンド | 日本を除くアジアの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券 | |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | | 無制限 |
| | ベビーファンドの株式組入上限比率 | | |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | | |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 | | |

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアの大型株式等に厳選投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 株式組入 比率 | 株式先物 比率 | 投資証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|----------------------|-------------|------------|-----------|------------|------------|--------------|------------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | | | | |
| 1 期末(2021年 1 月 8 日) | 円 15,976 | 円 0 | % 59.8 | % 99.5 | % — | % — | 百万円 159 |
| 2 期末(2022年 1 月 11 日) | 15,561 | 0 | △ 2.6 | 98.2 | — | — | 156 |
| 3 期末(2023年 1 月 10 日) | 13,077 | 0 | △ 16.0 | 99.2 | — | — | 133 |

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

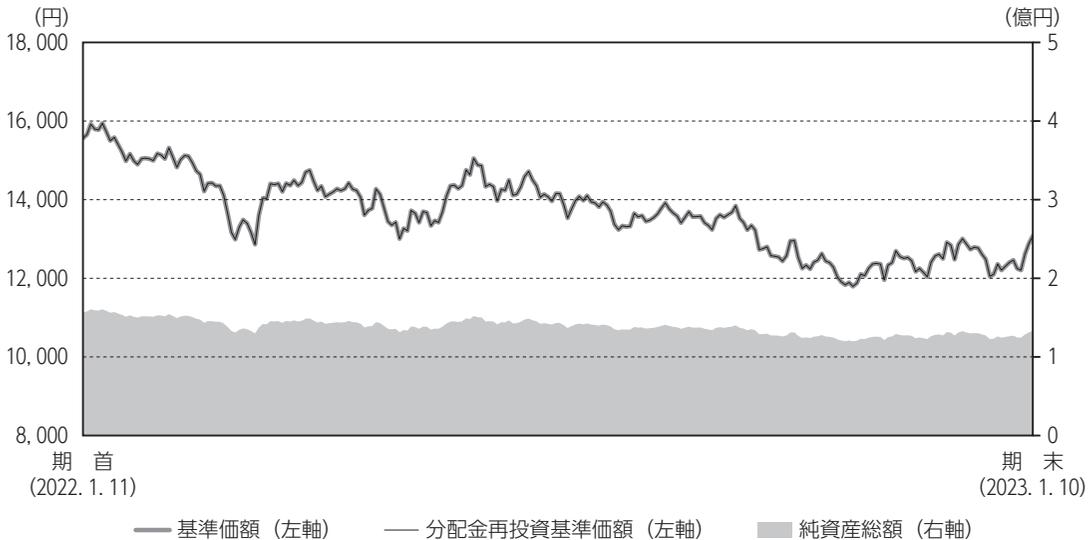
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：15,561円

期末：13,077円 (分配金0円)

騰落率：△16.0% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。中国景気の低迷懸念やウクライナ情勢に対する懸念、世界的な金融引き締め政策などを背景にアジア株式市場が下落したことが、マイナス要因となりました。一方で、香港ドルや米ドル、中国・人民元が対円で上昇 (円安) したことはプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

アジア大型株長期厳選投資

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 株 式 組 入 率 比 | 株 式 先 物 率 比 | 投 資 証 券 組 入 比 率 |
|----------------|---------|-------|------|----------------|----------------|--------------------|
| | | 円 | % | | | |
| (期首)2022年1月11日 | 15,561 | — | % | 98.2 | — | — |
| 1月末 | 14,894 | △ | 4.3 | 93.6 | — | — |
| 2月末 | 14,414 | △ | 7.4 | 98.3 | — | — |
| 3月末 | 14,493 | △ | 6.9 | 98.8 | — | — |
| 4月末 | 13,777 | △ | 11.5 | 91.1 | — | — |
| 5月末 | 14,082 | △ | 9.5 | 95.2 | — | — |
| 6月末 | 14,506 | △ | 6.8 | 97.1 | — | — |
| 7月末 | 13,707 | △ | 11.9 | 95.5 | — | — |
| 8月末 | 13,568 | △ | 12.8 | 90.7 | — | — |
| 9月末 | 12,559 | △ | 19.3 | 90.1 | — | — |
| 10月末 | 11,793 | △ | 24.2 | 94.6 | — | — |
| 11月末 | 12,409 | △ | 20.3 | 98.8 | — | — |
| 12月末 | 12,248 | △ | 21.3 | 98.6 | — | — |
| (期末)2023年1月10日 | 13,077 | △ | 16.0 | 99.2 | — | — |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 1. 12 ~ 2023. 1. 10)

■アジア株式市況

アジア株式市況は下落しました。

アジア株式市況は、当作成期首より、中国政府による景気刺激策への期待が支援材料となった一方、米国の金融引き締め政策やウクライナ情勢に対する懸念、中国本土での新型コロナウイルス感染再拡大などを背景に下落しました。2022年7月以降は、将来的な利上げペースの鈍化期待などを受けて米国金利の上昇が一服して反発したものの、台湾をめぐる地政学リスクの高まりや米国政府による半導体製造装置の対中輸出規制強化、中国共産党大会を受けて習近平国家主席への権力集中に対する懸念が高まったことなどを背景に、中国を中心に下落しました。11月以降は、中国のゼロコロナ政策の緩和期待や、予想を下回る米国のCPI（消費者物価指数）を受けて米国の金融引き締めペースの減速期待が高まったことで上昇しました。当作成期末にかけては、中国のゼロコロナ政策の緩和や経済対策への期待感から中国が大きく上昇した一方で、米国におけるハイテク株安のあおりを受け台湾や韓国は続落するなど、まちまちの展開となりました。

■為替相場

アジア通貨は対円で上昇しました。

アジア通貨は、当作成期首より、米国の利上げ期待の高まりやウクライナ情勢に対する懸念を背景に、対円で一進一退の動きとなりました。2022年3月以降は、日米の金融政策の方向性の違いやロシアとウクライナの停戦協議の進展期待を背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、対米ドルで円安が進みました。5月に入ると、米国金利が低下に転じたことや、世界経済の減速懸念などから、リスク回避姿勢が強まったことで、円が強含む展開となりました。6月以降は、将来的な利上げペースの鈍化期待などを受けて米国金利の上昇が一服し円が強含む場面があったものの、各国・地域の中央銀行がインフレ抑制のために金融引き締めを継続する姿勢である一方、日銀は引き続き金融緩和政策を維持したことから円安が進み、ほとんどの投資対象通貨は大きく上昇しました。11月から当作成期末にかけては、米国のインフレ率の減速期待から米国金利が低下基調となったことで日米金利差の縮小が意識されたこと、また日銀が想定外の政策修正を行い金融緩和政策の転換などが意識されたことで円が大きく下落し、香港ドルや米ドル、中国・人民元などは上昇幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アジア株長期厳選投資マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■アジア株長期厳選投資マザーファンド

当ファンドでは引き続き、高いキャッシュフロー創出力があり、業績拡大ストーリーが明確な企業の株式を中心に投資を行う方針です。企業価値の向上が期待される企業とは、事業が生み出すキャッシュフローを、資本コストを上回る十分なリターンが見込まれる事業に再投資することで、業績を拡大させることができる企業であると考えています。また、長期には株価は企業価値を正しく反映するとの哲学に基づき、企業価値の向上が期待される企業への投資を続けることで、良好なリターンを得ることができると考えています。上記を踏まえ、ボトムアップアプローチとトップダウンアプローチを活用し、長期的な株価の上昇余地に着目して30銘柄程度を上限に厳選投資を行います。

ポートフォリオについて

(2022. 1. 12 ~ 2023. 1. 10)

■当ファンド

「アジア株長期厳選投資マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■アジア株長期厳選投資マザーファンド

日本を除くアジアの大型株式等の中から、成長性の高い企業の株式等に厳選投資しました。長期的なリターン獲得をめざして30銘柄程度を上限に厳選した結果、国・地域別では、中国やインド、台湾などが組入上位となりました。個別銘柄では、TENCENT HOLDINGS LTD (中国、コミュニケーション・サービス)、AIA GROUP LTD (香港、金融)、ALIBABA GROUP HOLDING LTD (中国、一般消費財・サービス)などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 当 期 | |
|-------------------|---------------------------|-------|
| | 2022年1月12日 ～2023年1月10日 | |
| 当期分配金（税込み） | (円) | — |
| 対基準価額比率 | (%) | — |
| 当期の収益 | (円) | — |
| 当期の収益以外 | (円) | — |
| 翌期繰越分配対象額 | (円) | 5,975 |

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「アジア株長期厳選投資マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■アジア株長期厳選投資マザーファンド

当ファンドでは引き続き、高いキャッシュフロー創出力があり、業績拡大ストーリーが明確な企業の株式を中心に投資を行う方針です。企業価値の向上が期待される企業とは、事業が生み出すキャッシュフローを、資本コストを上回る十分なリターンが見込まれる事業に再投資することで、業績を拡大させることができる企業であると考えています。また、長期には株価は企業価値を正しく反映するとの哲学に基づき、企業価値の向上が期待される企業への投資を続けることで、良好なリターンを得ることができると考えています。上記を踏まえ、ボトムアップアプローチとトップダウンアプローチを活用し、長期的な株価の上昇余地に着目して30銘柄程度を上限に厳選投資を行います。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 (2022. 1. 12~2023. 1. 10) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|----------------------------------|----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 184円 | 1. 349% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 639円です。 |
| (投 信 会 社) | (90) | (0. 658) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (90) | (0. 658) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (4) | (0. 033) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | 145 | 1. 061 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (145) | (1. 061) | |
| 有 価 証 券 取 引 税 | 55 | 0. 405 | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (55) | (0. 405) | |
| そ の 他 費 用 | 328 | 2. 403 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (287) | (2. 102) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0. 005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (40) | (0. 296) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 712 | 5. 218 | |

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

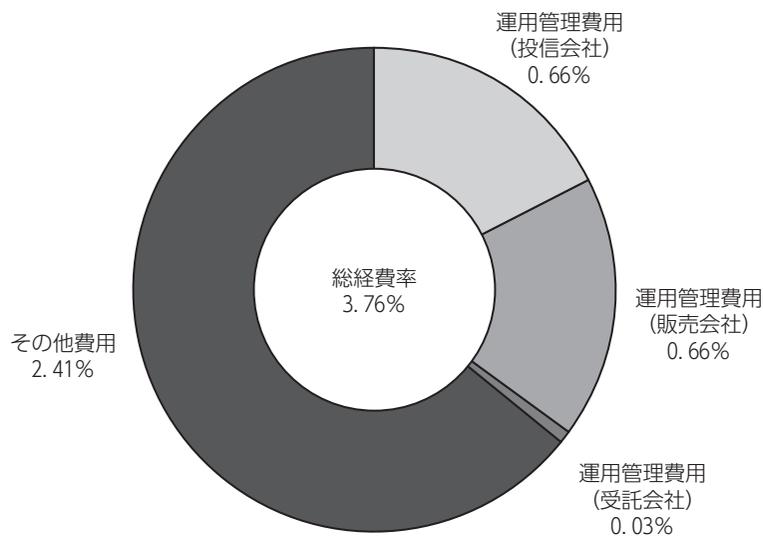
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.76%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

| | 設 定 | | 解 約 | |
|---------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| アジア株 長期厳選投資 マザーファンド | 524 | 700 | 757 | 1,100 |

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|-------------------|
| | アジア株長期厳選投資マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 572,642千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 131,246千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 4.36 |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

| 当作成期首 保有額 | 当作成期中 設定額 | 当作成期中 解約額 | 当作成期末 保有額 | 取引の理由 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | |
| 100 | — | — | 100 | 当初設定時における取得 |

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種 類 | 当 期 末 | | |
|-----------------------|--------|--------|---------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| アジア株長期厳選投資 マザーファンド | 97,877 | 97,644 | 133,098 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年1月10日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-----------------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| アジア株長期厳選投資 マザーファンド | 133,098 | 99.2 |
| コール・ローン等、その他 | 1,064 | 0.8 |
| 投資信託財産総額 | 134,163 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.85円、1香港・ドル=16.89円、1台湾・ドル=4.318円、1フィリピン・ペソ=2.391円、1インド・ルピー=1.61円、100インドネシア・ルピア=0.85円、100韓国・ウォン=10.62円、1オフショア・人民元=19.455円、1タイ・バーツ=3.94円、100ベトナム・ドン=0.561円です。

(注3) アジア株長期厳選投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（133,436千円）の投資信託財産総額（133,875千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年1月10日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|----------------------------|--------------|
| (A) 資産 | 134,163,004円 |
| コール・ローン等 | 1,064,095 |
| アジア株長期厳選投資 マザーファンド（評価額） | 133,098,909 |
| (B) 負債 | 893,210 |
| 未払解約金 | 40 |
| 未払信託報酬 | 889,648 |
| その他未払費用 | 3,522 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 133,269,794 |
| 元本 | 101,912,025 |
| 次期繰越損益金 | 31,357,769 |
| (D) 受益権総口数 | 101,912,025口 |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 13,077円 |

* 期首における元本額は100,802,302円、当作成期間中における追加設定元本額は1,251,339円、同解約元本額は141,616円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,077円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|--------------|
| (A) 配当等収益 | △ 116円 |
| 支払利息 | △ 116 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 23,141,595 |
| 売買益 | 20,947 |
| 売買損 | △ 23,162,542 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,869,488 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | △ 25,011,199 |
| (E) 前期繰越損益金 | 55,276,221 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,092,747 |
| (配当等相当額) | (1,444,698) |
| (売買損益相当額) | (△ 351,951) |
| (G) 合計 (D + E + F) | 31,357,769 |
| 次期繰越損益金 (G) | 31,357,769 |
| 追加信託差損益金 | 1,092,747 |
| (配当等相当額) | (1,444,698) |
| (売買損益相当額) | (△ 351,951) |
| 分配準備積立金 | 59,455,152 |
| 繰越損益金 | △ 29,190,130 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------------|--------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 0円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 1,444,698 |
| (d) 分配準備積立金 | 59,455,152 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 60,899,850 |
| (f) 分配金 | 0 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 60,899,850 |
| (h) 受益権総口数 | 101,912,025口 |

アジア株長期厳選投資マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2023年1月10日)

(作成対象期間 2022年1月12日～2023年1月10日)

アジア株長期厳選投資マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行いません。 |
| 主要投資対象 | 日本を除くアジアの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券 |
| 株式組入制限 | 無制限 |

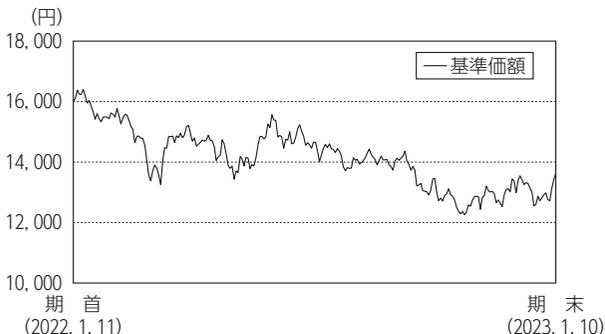
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



| 年月日 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| | 円 | 騰落率 % | | |
| (期首)2022年1月11日 | 16,006 | — | 98.3 | — |
| 1月末 | 15,330 | △ 4.2 | 93.8 | — |
| 2月末 | 14,851 | △ 7.2 | 98.5 | — |
| 3月末 | 14,949 | △ 6.6 | 99.0 | — |
| 4月末 | 14,224 | △ 11.1 | 91.3 | — |
| 5月末 | 14,558 | △ 9.0 | 95.3 | — |
| 6月末 | 15,014 | △ 6.2 | 97.4 | — |
| 7月末 | 14,201 | △ 11.3 | 95.7 | — |
| 8月末 | 14,074 | △ 12.1 | 90.8 | — |
| 9月末 | 13,040 | △ 18.5 | 90.3 | — |
| 10月末 | 12,258 | △ 23.4 | 94.8 | — |
| 11月末 | 12,914 | △ 19.3 | 99.0 | — |
| 12月末 | 12,761 | △ 20.3 | 98.7 | — |
| (期末)2023年1月10日 | 13,631 | △ 14.8 | 99.3 | — |

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,006円 期末：13,631円 騰落率：△14.8%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は下落しました。中国景気の低迷懸念やウクライナ情勢に対する懸念、世界的な金融引き締め政策などを背景にアジア株式市場が下落したことが、マイナス要因となりました。一方で、香港ドルや米ドル、中国・人民元が対円で上昇（円安）したことはプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○アジア株式市況

アジア株式市況は下落しました。

アジア株式市況は、当作成期首より、中国政府による景気刺激策への期待が支援材料となった一方、米国の金融引き締め政策やウクライナ情勢に対する懸念、中国本土での新型コロナウイルス感染再拡大などを背景に下落しました。2022年7月以降は、将来的な利上げペースの鈍化期待などを受けて米国金利の上昇が一服して反発したものの、台湾をめぐる地政学リスクの高まりや米国政府による半導体製造装置の対中輸出規制強化、中国共産党大会を受けて習近平国家主席への権力集中に対する懸念が高まったことなどを背景に、中国を中心に下落しました。11月以降は、中国のゼロコロナ政策の緩和期待や、予想を下回る米国のCPI（消費者物価指数）を受けて米国の金融引き締めペースの減速期待が高まったことで上昇しました。当作成期末にかけては、中国のゼロコロナ政策の緩和や経済対策への期待感から中国が大きく上昇した一方で、米国におけるハイテク株安のあおりを受け台湾や韓国は統落するなど、まちまちの展開となりました。

○為替相場

アジア通貨は対円で上昇しました。

アジア通貨は、当作成期首より、米国の利上げ期待の高まりやウクライナ情勢に対する懸念を背景に、対円で一進一退の動きとなりました。2022年3月以降は、日米の金融政策の方向性の違いやロシアとウクライナの停戦協議の進展期待を背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、対米ドルで円安が進みました。5月に入ると、米国金利が低下に転じたことや、世界経済の減速懸念などから、リスク回避姿勢が強まったことで、円が強含む展開となりました。6月以降は、将来的な利上げペースの鈍化期待などを受けて米国金利の上昇が一服し円が強含む場面があったものの、各国・地域の中央銀行がインフレ抑制のために金融引き締めを継続する姿勢である一方、日銀は引き続き金融緩和政策を維持したことなどから円安が進み、ほとんどの投資対象通貨は大きく上昇しました。11月から当作成期末にかけては、米国のインフレ率の減速期待から米国金利が低下基調となったことで日米金利差の縮小が意識されたこと、また日銀が想定外の政策修正を行い金融緩和政策の転換などが意識されたことで円が大きく下落し、香港ドルや米ドル、中国・人民元などは上昇幅を縮小しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは引き続き、高いキャッシュフロー創出力があり、業績拡大ストーリーが明確な企業の株式を中心に投資を行う方針です。企業価値の向上が期待される企業とは、事業が生み出すキャッシュフローを、資本コストを上回る十分なリターンが見込まれる事業に再投資することで、業績を拡大させることができる企業であると考えています。また、長期には株価は企業価値を正しく反映するとの哲学に基づき、企業価値の向上が期待される企業への投資を続けることで、良好なリターンを得ることができると考えています。上記を踏まえ、ボトムアップアプローチとトップダウンアプローチを活用し、長期的な株価の上昇余地に着目して30銘柄程度を上限に厳選投資を行います。

◆ポートフォリオについて

日本を除くアジアの大型株式等の中から、成長性の高い企業の株式等に厳選投資しました。長期的なリターン獲得をめざして30銘柄程度を上限に厳選した結果、国・地域別では、中国やインド、台湾などが組入上位となりました。個別銘柄では、TENCENT HOLDINGS LTD（中国、コミュニケーション・サービス）、AIA GROUP LTD（香港、金融）、ALIBABA GROUP HOLDING LTD（中国、一般消費財・サービス）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、高いキャッシュフロー創出力があり、業績拡大ストーリーが明確な企業の株式を中心に投資を行う方針です。企業価値の向上が期待される企業とは、事業が生み出すキャッシュフローを、資本コストを上回る十分なリターンが見込まれる事業に再投資することで、業績を拡大させることができる企業と考えています。また、長期には株価は企業価値を正しく反映するとの哲学に基づき、企業価値の向上が期待される企業への投資を続けることで、良好なリターンを得ることができると考えています。上記を踏まえ、ボトムアップアプローチとトップダウンアプローチを活用し、長期的な株価の上昇余地に着目して30銘柄程度を上限に厳選投資を行います。

■1万口当りの費用の明細

| 項目 | 当 | 期 |
|-----------------|---|--------------|
| 売買委託手数料 (株式) | (| 150円 150) |
| 有価証券取引税 (株式) | (| 57 57) |
| その他費用 (保管費用) | (| 339 297) |
| (その他) | (| 42) |
| 合計 | | 547 |

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

| 当 | | | | 期 | | | |
|------------------------------------|-------|--------|---------|------------------------------------|-------|--------|---------|
| 買 | | | | 売 | | | |
| 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 | 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| JD.COM INC - CL A (ケイマン諸島) | 5.4 | 22,000 | 4,074 | JD.COM INC - CL A (ケイマン諸島) | 4.2 | 14,389 | 3,426 |
| MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島) | 6.1 | 19,565 | 3,207 | LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A (中国) | 12.6 | 13,493 | 1,070 |
| TENCENT HOLDINGS LTD (ケイマン諸島) | 2.5 | 14,478 | 5,791 | NETEASE INC (ケイマン諸島) | 5.2 | 12,431 | 2,390 |
| ALIBABA GROUP HOLDING LTD (ケイマン諸島) | 9 | 14,099 | 1,566 | RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド) | 1.5 | 12,115 | 8,077 |
| AIA GROUP LTD (香港) | 10 | 13,055 | 1,305 | MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島) | 4.3 | 12,025 | 2,796 |
| NETEASE INC (ケイマン諸島) | 5.2 | 12,699 | 2,442 | LARSEN & TOUBRO-GDR REG S (インド) | 4.175 | 11,953 | 2,863 |
| LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A (中国) | 10.1 | 12,575 | 1,245 | SAMSUNG ELECTR-GDR REG S (韓国) | 0.064 | 10,746 | 167,911 |
| CHAILEASE HOLDING CO LTD (ケイマン諸島) | 12.9 | 12,381 | 959 | BYD CO LTD-H (中国) | 2.5 | 10,604 | 4,241 |
| LI NING CO LTD (ケイマン諸島) | 10.5 | 11,722 | 1,116 | INFOSYS LTD-SP ADR (インド) | 4.125 | 10,426 | 2,527 |
| SAMSUNG ELECTR-GDR REG S (韓国) | 0.063 | 10,014 | 158,965 | CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A (中国) | 1.2 | 10,289 | 8,574 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

株 式

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

| | 買 付 | | 売 付 | | |
|-----|--------|-----------------------|---------------------------------|--------------|--------------------------|
| | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | |
| 外 国 | アメリカ | 百株 73.63 () | 千アメリカ・ドル 260 () | 百株 188.49 | 千アメリカ・ドル 479 |
| | 香港 | 百株 875 (2.81) | 千香港・ドル 8,436 (△ 2) | 百株 633 | 千香港・ドル 6,362 |
| | 台湾 | 百株 163 (1.52) | 千台湾・ドル 4,717 (△ 6) | 百株 162 | 千台湾・ドル 5,202 |
| | フィリピン | 百株 118 () | 千フィリピン・ペソ 1,191 () | 百株 118 | 千フィリピン・ペソ 1,003 |
| | インド | 百株 24.5 () | 千インド・ルピー 3,965 () | 百株 4.25 | 千インド・ルピー 1,022 |
| | インドネシア | 百株 2,970 () | 千インドネシア・ルピア 1,729,805 () | 百株 2,345 | 千インドネシア・ルピア 1,379,169 |
| | 韓国 | 百株 2.25 () | 千韓国・ウォン 28,955 () | 百株 3.14 | 千韓国・ウォン 51,833 |
| | 中国 | 百株 309 (24.05) | 千オフショア・人民元 2,689 () | 百株 438.17 | 千オフショア・人民元 3,036 |
| | タイ | 百株 197 () | 千タイ・バーツ 1,766 () | 百株 265 | 千タイ・バーツ 2,351 |
| | ベトナム | 百株 — () | 千ベトナム・ドン — () | 百株 67 | 千ベトナム・ドン 437,264 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

アジア株長期厳選投資マザーファンド

■組入資産明細表

外国株式

| 銘柄 | 株数 | 株数 | 期末評価額 | | 業種等 | |
|------------------------------|---------------------|---------------|-------------------|--------------|-------------------|--|
| | | | 外貨建金額 千アメリカ・ドル | 邦貨換算金額 千円 | | |
| (アメリカ) | | | | | | |
| SEA LTD-ADR | 0.1 | — | — | — | コミュニケーション・サービス | |
| UNITED MICROELECTRON-SP ADR | 40 | — | — | — | 情報技術 | |
| ICICI BANK LTD-SPON ADR | 43.75 | 17.25 | 36 | 4,858 | 金融 | |
| INFOSYS LTD-SP ADR | 33.25 | 9 | 16 | 2,135 | 情報技術 | |
| SAMSUNG ELECTR-GDR REG S | 0.75 | 0.74 | 91 | 12,040 | 情報技術 | |
| RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A | 9.5 | 5.25 | 33 | 4,371 | エネルギー | |
| LARSEN & TOUBRO-GDR REG S | 32 | 12.25 | 31 | 4,199 | 資本財・サービス | |
| アメリカ・ドル通貨計 | 株数、金額 銘柄数 < 比率 > | 159.35 7銘柄 | 44.49 5銘柄 | 209 | 27,604 <20.6%> | |
| (香港) | | | | | | |
| CHINA RESOURCES BEER HOLDING | — | 40 | 240 | 4,053 | 生活必需品 | |
| TENCENT HOLDINGS LTD | 14 | 21 | 760 | 12,839 | コミュニケーション・サービス | |
| BYD CO LTD-H | 25 | 10 | 201 | 3,401 | 一般消費財・サービス | |
| AIA GROUP LTD | 26 | 84 | 733 | 12,385 | 金融 | |
| WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC | 5 | 10 | 67 | 1,142 | ヘルスケア | |
| MEITUAN-CLASS B | 7 | 27.1 | 489 | 8,266 | 一般消費財・サービス | |
| ALIBABA GROUP HOLDING LTD | — | 65 | 717 | 12,120 | 一般消費財・サービス | |
| JD.COM INC - CL A | 5 | 17.71 | 442 | 7,478 | 一般消費財・サービス | |
| TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD | 35 | — | — | — | 資本財・サービス | |
| SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP | 9 | — | — | — | 一般消費財・サービス | |
| CHINA MENGNIU DAIRY CO | — | 80 | 301 | 5,094 | 生活必需品 | |
| LI NING CO LTD | 15 | 45 | 325 | 5,495 | 一般消費財・サービス | |
| SUNNY OPTICAL TECH | 14 | — | — | — | 情報技術 | |
| 香港・ドル通貨計 | 株数、金額 銘柄数 < 比率 > | 155 10銘柄 | 399.81 10銘柄 | 4,279 | 72,277 <54.0%> | |
| (台湾) | | | | | | |
| MEDIATEK INC | 18 | 7 | 472 | 2,040 | 情報技術 | |
| CHAILEASE HOLDING CO LTD | 45.5 | 61.02 | 1,409 | 6,086 | 金融 | |
| TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC | 57 | 55 | 2,645 | 11,423 | 情報技術 | |
| 台湾・ドル通貨計 | 株数、金額 銘柄数 < 比率 > | 120.5 3銘柄 | 123.02 3銘柄 | 4,527 | 19,550 <14.6%> | |
| (インド) | | | | | | |
| SRF LTD | — | 2.25 | 503 | 810 | 素材 | |
| SBI LIFE INSURANCE CO LTD | — | 18 | 2,351 | 3,785 | 金融 | |
| インド・ルピー通貨計 | 株数、金額 銘柄数 < 比率 > | — — | 20.25 2銘柄 | 2,854 | 4,596 <3.4%> | |

| 銘柄 | 株数 | 株数 | 期末 | | 業種等 |
|------------------------------|------------|--------|-------------|---------|----------------|
| | | | 評価額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (インドネシア) | 百株 | 百株 | 千インドネシア・ルピア | 千円 | |
| BANK CENTRAL ASIA TBK PT | — | 235 | 198,575 | 1,687 | 金融 |
| BANK RAKYAT INDONESIA PERSER | — | 390 | 179,010 | 1,521 | 金融 |
| インドネシア・ルピア通貨計 | 株数、金額 | — | 377,585 | 3,209 | |
| | 銘柄数 < 比率 > | — | 2銘柄 | <2.4%> | |
| (韓国) | 百株 | 百株 | 千韓国・ウォン | 千円 | |
| SAMSUNG SDI CO LTD | 0.24 | — | — | — | 情報技術 |
| NAVER CORP | 0.35 | — | — | — | コミュニケーション・サービス |
| KAKAO CORP | 0.3 | — | — | — | コミュニケーション・サービス |
| 韓国・ウォン通貨計 | 株数、金額 | 0.89 | — | — | |
| | 銘柄数 < 比率 > | 3銘柄 | — | <—> | |
| (中国) | 百株 | 百株 | 千オフショア・人民元 | 千円 | |
| LUZHOU LAOJIAO CO LTD-A | — | 2 | 47 | 927 | 生活必需品 |
| WUXI LEAD INTELLIGENT EQUI-A | 41.2 | — | — | — | 資本財・サービス |
| CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A | 5.1 | 2.1 | 87 | 1,702 | 資本財・サービス |
| LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A | 20.2 | 7.28 | 30 | 598 | 情報技術 |
| GOERTEK INC -A | 50 | — | — | — | 情報技術 |
| オフショア・人民元通貨計 | 株数、金額 | 116.5 | 11.38 | 165 | 3,228 |
| | 銘柄数 < 比率 > | 4銘柄 | 3銘柄 | <2.4%> | |
| (タイ) | 百株 | 百株 | 千タイ・バーツ | 千円 | |
| ENERGY ABSOLUTE PCL-FOREIGN | 137 | 69 | 624 | 2,460 | 公益事業 |
| タイ・バーツ通貨計 | 株数、金額 | 137 | 69 | 624 | 2,460 |
| | 銘柄数 < 比率 > | 1銘柄 | 1銘柄 | <1.8%> | |
| (ベトナム) | 百株 | 百株 | 千ベトナム・ドン | 千円 | |
| VINHOMES JSC | 67 | — | — | — | 不動産 |
| ベトナム・ドン通貨計 | 株数、金額 | 67 | — | — | |
| | 銘柄数 < 比率 > | 1銘柄 | — | <—> | |
| ファンド合計 | 株数、金額 | 756.24 | 1,292.95 | — | 132,927 |
| | 銘柄数 < 比率 > | 29銘柄 | 26銘柄 | <99.3%> | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

アジア株長期厳選投資マザーファンド

■投資信託財産の構成

2023年1月10日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 株式 | 132,927 千円 | 99.3 % |
| コール・ローン等、その他 | 948 | 0.7 |
| 投資信託財産総額 | 133,875 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.85円、1香港・ドル=16.89円、1台湾・ドル=4.318円、1フィリピン・ペソ=2.391円、1インド・ルピー=1.61円、100インドネシア・ルピア=0.85円、100韓国・ウォン=10.62円、1オフショア・人民元=19.455円、1タイ・バーツ=3.94円、100ベトナム・ドン=0.561円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(133,436千円)の投資信託財産総額(133,875千円)に対する比率は、99.7%です。

■損益の状況

当期 自 2022年1月12日 至 2023年1月10日

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------|--------------|
| (A) 配当等収益 | 1,280,556円 |
| 受取配当金 | 1,256,844 |
| 受取利息 | 23,082 |
| その他収益金 | 630 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 21,254,266 |
| 売買益 | 34,508,460 |
| 売買損 | △ 55,762,726 |
| (C) その他費用 | △ 3,330,207 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | △ 23,303,917 |
| (E) 前期繰越損益金 | 59,132,512 |
| (F) 解約差損益金 | △ 343,022 |
| (G) 追加信託差損益金 | 175,816 |
| (H) 合計 (D + E + F + G) | 35,661,389 |
| 次期繰越損益金 (H) | 35,661,389 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年1月10日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|--------------|
| (A) 資産 | 134,275,909円 |
| コール・ローン等 | 897,193 |
| 株式(評価額) | 132,927,120 |
| 未収入金 | 400,000 |
| 未収配当金 | 51,596 |
| (B) 負債 | 400,592 |
| 未払金 | 400,592 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 133,875,317 |
| 元本 | 98,213,928 |
| 次期繰越損益金 | 35,661,389 |
| (D) 受益権総口数 | 98,213,928口 |
| 1万口当り基準価額 (C/D) | 13,631円 |

* 期首における元本額は98,449,056円、当作成期間中における追加設定元本額は524,184円、同解約元本額は759,312円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
アジア株長期厳選投資ファンド(適格機関投資家専用) 569,654円
アジア大型株長期厳選投資 97,644,274円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,631円です。